

科目名	介護概論				担当	穂谷 かつ江		
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年前期	実務経験	介護支援専門員、看護師として勤務経験あり	
必修	介護：必修				ナンバリング	Y3501	DPとの関連	2
授業概要	社会で介護を支えることの意義を理解し、専門職としての介護実践活動の基本的知識と技術及び職業倫理を理解していく。また、「障害を持って、年を重ねても自分らしく生きていく」ということを考えていく。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実践は知識に裏付けられた活動であることが理解できる</li> <li>・介護実践活動は、知識と根拠に基づいた適切な介護技術の適用が必要であることを理解できる</li> <li>・自立支援の考え方にに基づき、自立支援に資するサービスを多職種と協働して総合的・計画的に提供できる能力が介護専門職として不可欠であることを理解できる</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	職務の理解	介護職とキャリアパス					
	2	介護の多様なサービスと介護職の役割	介護職の仕事の内容と働く場の理解 介護環境、介護の専門性、介護にかかわる職種					
	3	介護における尊厳の保持	生活の質と尊厳の保持（あなたは私の手になれますか）					
	4	介護保険制度と地域包括ケア	制度の概要と地域包括ケア					
	5	老化の理解	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響（GW）					
	6	高齢者の健康と介護予防	高齢期に多い病気と介護予防（ロコモとフレイル）					
	7	認知症の基礎	生活習慣病と認知症（GW）					
	8	認知症の生活支援	認知症に伴う生活の変化とケアの原則・家族支援					
	9	認知症の早期発見と認知症予防	MCIの段階での支援、予防支援					
	10	高齢者虐待と権利擁護事業	高齢者虐待とは、身体拘束禁止、成年後見制度					
	11	介護におけるコミュニケーション	利用者・家族・チームとのコミュニケーション、観察と記録					
	12	安全管理とリスクマネジメント	転倒と事故予防・安全対策、感染対策					
	13	エンドオブライフケア	緩和ケア、終末期ケア、尊厳ある死とは					
	14	介護過程とチームアプローチ	ケアマネジメント、チームケア、地域連携（GW）					
15	介護職の職業倫理と健康管理	専門職の倫理、心身の健康管理						
評価基準	介護実践活動が知識に裏付けられた活動であることが理解できれば「可」そして、その知識が提供する技術に大きく左右することが理解できれば「良」介護実践をするうえで、その知識が、専門職業人として介護を実践するために必要不可欠であることを理解できれば「優」自らの介護観が持てる「秀」							
評価方法	授業態度 20% 講義時間に提示する課題レポート 30% 修了課題レポート 50%							
フィードバック 方法	到達課題に対するレポートを提示し、次の講義時に返却・説明をしていく							
アクティブ ラーニング	グループワーク（GW）							
教科書	『介護職員初任者研修テキスト』第1分冊（QOLサービス）							
参考書	授業内で資料等提供をする							
履修条件	本科目は、介護職員初任者研修の必修科目であるため、原則欠席は認められない。当該課程履修予定者は必ず履修すること。							
授業外学習	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書（教科書関連箇所含む）や友人との討議の機会をつくり思考を深めること。（30分） 事後学習：授業で扱われた事項に関する学びと自己の課題を考察すること。（1時間）							
オフィスアワー	授業終了後に質問等を受け付ける							